

デジタルサイネージ体型の マルチメディアホームドアを共同開発

-6月27日（月）から東横線武蔵小杉駅で、7月以降大井町線溝の口駅で
鉄道情報配信の実証実験を開始-

東京急行電鉄株式会社
日本信号株式会社
三菱電機株式会社
旭硝子株式会社

東京急行電鉄株式会社（以下、東急電鉄）と日本信号株式会社（以下、日本信号）、三菱電機株式会社（以下、三菱電機）、旭硝子株式会社（以下、AGC旭硝子）は、共同でデジタルサイネージ体型のマルチメディアホームドア（以下、本ホームドア）を開発し、6月27日（月）より東横線武蔵小杉駅で、7月以降大井町線溝の口駅で実証実験を開始します。

本ホームドアは、AGC旭硝子が開発したガラス一体型デジタルサイネージ「infore®（インフォベール）」を三菱電機および日本信号が制作するホームドアの戸袋部分に設置し、東急電鉄がコンテンツ配信の仕組みと運用モデルを構築します。

今回の実証実験では、鉄道業界では最大規模となる55インチサイズのデジタルサイネージを組み込んだ本ホームドアを東横線武蔵小杉駅、大井町線溝の口駅の一部に設置し、屋外環境での技術的課題を検証すると共に、デジタルデバイスを組み合わせ合わせたホーム上での新たな情報発信に積極的に取り組んでいきます。

東急電鉄は、沿線の皆さまがイキイキと働き、快適に暮らし、楽しみのある街を実現するために、「いい街 いい電車 プロジェクト」に取り組んでいます。

その一環として、あらゆるお客さまが安全・安心にご利用いただける鉄道を目指し、2020年为目标に東横線・田園都市線・大井町線の全64駅へのホームドア設置を計画しています。

今般の実証実験の結果により、一部駅においては本ホームドアの導入を検討し、東急線ご利用のお客さまのさらなる利便性向上を目的に、さまざまなコンテンツを表示していきます。



マルチメディアホームドアイメージ



設置イメージ

※「infore®（インフォベール）」はAGC旭硝子の登録商標です。

【別紙】

〈マルチメディアホームドア実証実験の概要〉

■実験内容：ホームドアにデジタルサイネージを設置し、屋外環境での耐久力、配信情報の訴求力を検証

■配信コンテンツ内容：通常時：マナー啓発、沿線プロモーション映像、整列乗車案内など
その他鉄道情報の配信
異常時：運転再開見込みなどの運行情報を表示（お知らせモニターと同様）
※コンテンツは実証期間中に変更していく予定です。

■実証実験対象駅ならびに実証実験期間※

(1) 東横線 武蔵小杉駅 4番線ホーム（渋谷方面）
10両編成（8両編成） 6号車（4号車）2番目ドア両サイド（2面）
運用開始予定日：2016年6月27日（月）

(2) 大井町線 溝の口駅 3番線ホーム（大井町方面）
6両編成（5両編成） 3号車（2号車）3番目ドア両サイド（2面）
運用開始予定日：2016年7月以降

※実証実験期間については武蔵小杉駅、溝の口駅それぞれ約一年間の予定

□お問い合わせご意見

本実証実験についてのお問い合わせ・ご意見については東急お客さまセンターにて承ります。

東急お客さまセンター

TEL：03-3477-0109

<http://www.tokyu.co.jp/customer/>（Webお問い合わせフォームよりお問い合わせください）

月～金 8:00～19:00 土日祝 9:30～17:30（年末年始などを除く）